

令和6年度当初予算の主な事業

4 安心して暮らしやすいまち

● コンポストを活用した循環教育の実施

豊山保育園にコンポストを設置し、園児たちに食の循環を学ぶ機会を提供

● プラスチック資源一括回収に向けた啓発活動

令和7年4月からプラスチック資源一括回収を実施するため、周知啓発チラシを作成し、全戸配布を実施

● 75歳以上の方のタウンバス無料化

高齢の方の外出支援や社会参加の促進を図るため、令和6年9月から75歳以上の方のタウンバスを無料化

● デマンド型交通の実証実験の実施

新たな交通体系の導入検討の一環として、デマンド型交通の実証実験を実施

● ゾーン30プラスの環境整備

志水小学校区において実施する速度規制に伴い、カラー舗装による路面表示を実施



● 特殊詐欺防止電話機等購入費の補助

高齢者等の特殊詐欺被害防止のため、迷惑電話を自動的に遮断する機能をもつ電話機等の購入補助を実施



5 誰もがいきいきと暮らせるまち

● がん検診「ワンコイン(500円)検診」の導入

受診率向上のため、胃がん・乳がん・子宮がんの検診料を見直し、ワンコイン(500円)検診を開始

● とよまオレンジプロジェクトの実施

認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の花を、豊山町全体に咲かせることを通じて、認知症への理解を広める取組を実施

● 犯罪被害者等への支援

故意の犯罪行為により、不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族又は重傷病という重大な被害を受けた犯罪被害者の方に対し、犯罪被害者等見舞金の支給を実施

6 人が繋がるまち

● 総合福祉センター南館ひまわりに多世代交流の場を創出

現行の浴室を、多世代交流のできる場や子ども・高齢者の集える場所へ用途変更するための設計を実施

● プレミアム付商品券の発行

町内で使用できる「豊山町プレミアム付商品券」を発行

● FDA就航地との交流

FDA就航地との交流を図り、互いの特産品を活用した事業を展開



7 人を育むまち

● 町の文化財や伝統行事のPR動画の作成

子どもたちを始め、多くの町民に郷土に対する誇りと愛着を醸成するため、PR動画を大学と連携し作成

● 子ども向けの町の歴史講座の開催

地域の歴史を学んでいる学生を講師に招いて町の歴史講座を開催

● 米国グラント郡への中学生の派遣

友好姉妹都市である米国ワシントン州グラント郡へ初の中学生派遣を実施

結びに

令和4年4月に町制施行から50年を迎えた豊山町は、令和5年度、新時代への新たな一歩を踏み出し、職員一同ワンチームで各種施策に取り組んでまいりました。令和6年度は、こうした取組みをさらに充実させるために7つの視点で予算編成に取り組んでまいりました。

これらの視点は、町民の皆さんを始め、本町に関わりを持つ、すべての方々のご尽力やご協力により、1つでも欠けることなく取り組むことで、初めて豊山町というまちの価値の高まりを実感できます。

豊山町に関わるすべての方々が、「万里一空」の精神で「まちの価値を高める」という目標に向かっていくための機運を高めることができるよう、その一端を担うべく職員が一体となって邁進してまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。令和6年度に向けた所信の表明を、閉じさせていただきます。

豊山町長 鈴木 邦尚